

多施設共同研究用

研究課題名

COVID-19(coronavirus disease 2019)に対する院外トリアージシステムと地域病床運営の最適化

1. 研究の対象

新型コロナ感染症が強く疑われて PCR 検査を受けた佐賀県及び福岡県の方

2. 研究目的・方法・期間

世界的に猛威をふるっている新型コロナ感染症は、日本でも甚大な被害をもたらす命と経済的損失を招いています。医療システムへの打撃も大きく、熱があるだけで診療を拒否されてしまうケースや、院内感染により外来診療が出来ない病院も発生してしまいました。みなさまの努力で新型コロナ感染症の第1波は収束しつつありますが、第2波が訪れてしまう可能性もあります。そのため今回の教訓を生かして柔軟に対処できるような備えをしておく必要があります。

今回の新型コロナ感染症対策として、佐賀県では救急車で搬送される患者さんに対して県独自の救急患者トリアージを行いました。感染の可能性のある方を感染症指定病院に集約し、院内感染のリスクを最小限にするためです。

今回、佐賀県及び福岡県で新型コロナ感染症が疑われ PCR 検査を受けた患者さんの、症状や行動履歴、検査結果を収集し解析することで、トリアージの有効性を解析します。また重症度別に搬送先を変える地域にマッチした新たなトリアージを考案し検証します。本研究は新型コロナ感染症の第2波や新たな感染症が発生してしまっても、継続可能な医療システムを維持するための試みです。

研究期間は2022年9月30日までとしていますが、有効なデータが出次第、順次学会や誌上などで発表して参ります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 対象となる患者さんの病院での情報（年齢、性別、イニシャル、並存疾患、服薬歴、検査結果、治療薬、人工呼吸器の使用等）
- 対象となる患者さんの住所（県と市町村のみ）と発症2週間前までの行動歴（病院が把握している情報のみ）

4. 外部への試料・情報の提供

研究のために集めた情報は個人を特定できないように匿名化します。共同研究施設へのデータの送付は、電子媒体に保存し郵送します。

データや匿名化した際の対応表は外部と接続できないパソコン内のみで、パスワードを設定したファイルとして管理し、各研究施設の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター	三池 徹
佐賀県医療センター好生館救命センター	岩村 高志
嬉野医療センター	藤原紳祐
唐津赤十字病院	宮原 正晴
東佐賀病院	田中将英
国立病院機構佐賀病院	安部友範
JCHO 佐賀中部病院	河島通博
今村病院	今村一郎
うえむら病院	上村春良
富士大和温泉病院	吉谷朋子
小城市民病院	柴田貴章
織田病院	織田良正
新武雄病院	大中洋平
聖マリア病院	古賀仁士

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

連絡先：〒840-8571

佐賀県佐賀市嘉瀬町大字中原400番地

電話番号：(0952)24-2171

研究責任者：岩村 高志

【この研究での検体・診療情報等の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。本研究で収集した情報は COVID-19 に対する有効な治療法の検証に利用される可能性がございます。二次利用する際には、改めて実施計画書を倫理審査委員会において審査し承認を受けたうえで利用いたします。

このお知らせは当院臨床研究倫理審査委員会承認日より 2022 年 9 月 30 日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀県医療センター好生館ホームページで掲載しているものです。

なお、この研究内容は、佐賀県医療センター好生館における所定の委員会で審査を受け、承認されたものです。